

ご寄付ありがとうございました

福岡市社協にお寄せいただいた寄付金は、
寄付者のご希望に添った事業の推進等に大切にさせていただきます。

寄付者（令和6年12月～令和7年4月）（五十音順）

※「寄付つき商品事業」 覚書締結企業 様

個人		団体	
上田 嘉代 様	土岐 学司 様	3 団体合同演奏会 様	コレクティブハウスひまわり 様
王 神 様	西頭 敬一郎 様	一般社団法人えにしにの会 様 ※	社会福祉法人 白ゆり会 様
岡本 幸代 様	野口 喜市 様	井口食品株式会社 様	宗教法人 真如苑 様
鬼木 雅子 様	服部 孝司 様	お茶の大円 様	翼 行政書士・社会福祉士事務所 様 ※
河野 干司 様	廣渡 隆則 様	株式会社Qtnet 様 ※	長尾校区笹の台自治会 様
倉住 翔太 様	藤本 晃嗣 様	株式会社石橋商会 様	長尾校区防災推進委員会 様
小島 ムツ 様	マーフィー 和歌子 様	株式会社大原キャリアスタッフ九州 様 ※	日蓮宗 本興寺 様
杉村 哲文 様	松田 潤嗣 様	株式会社福豊堂 様 ※	日産化学株式会社福岡オフィス 様
染矢 福夫 様	村越 俊郎 様	株式会社藤原組 様	福岡ひびき信用金庫イングスクラブ 様
土田 瞳 様		合同会社トラベルケアふくおか 様 ※	ボランティアグループあしたば 様

（このほか、匿名等で多くのご寄付をいただきました）



一般社団法人えにしにの会 様



株式会社福豊堂 様



宗教法人真如苑 様



福岡ひびき信用金庫イングスクラブ 様

介護支援ボランティア事業

シニアの社会参加をポイント制で後押しする「介護支援ボランティア事業」では、ボランティア活動でたまったポイント数の活用方法として、「奨励金（現金）」が「市社協への寄付」のいずれかを選択できます。令和6年度は105名の方がご寄付くださいました。



注目の1冊

「ちいさな社会」を愉しく生きる
広い世界から、深い宇宙へ
（牧野 篤 著／さくら舎）

高齢化・過疎化問題に取り組む大学教授が、空き家を活用した居場所づくりや多世代交流型コミュニティに変身した限界団地等、定年後も地域で仲間と実践できそうな3つの事例を紹介し、これからの高齢者の生き方について考えていきます。



【お問合せ】

福祉図書・情報室 ☎731-2946



生活の危機にある人や子どもたちを
一人でも多く救うために、
あなたも「毎月の寄付者」になりませんか。

詳しくは、福岡市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

ご利用
ください

本紙「ふくしのまち福岡」は、本会ホームページ（<https://fukuoka-shakyo.or.jp>）で公開しています。また、朗読 CD も配布しております。お気軽にお問合せください。

この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。

●●社協だより●●

2025年・夏号

ふくしのまち福岡

NO.
136

五福の家

～想いつながら みんなの居場所～

地域共生型の多機能拠点がオープンしました！

地域カフェや自立援助ホーム、地域の防災倉庫などの多様な取り組みを行なう地域共生型の多機能拠点「五福の家」がオープンしました。

「五福の家」は、醤油問屋「五福」が営まれていた土地に建つ建物を、福岡市社協が譲り受け、「地域のために活用してほしい」という想いを受け継ぎ、運営しています。

活用にあたっては「交流・ふれあい」「生きがい」「多様性の尊重」「おたがいさまの関係」「安心した暮らし」の5つをテーマとして考え、高齢者の孤独・孤立問題、身寄り問題、子ども・若者問題などの解決を図るため、様々な団体や人々が連携し、多様な取り組みを行なっています。

取り組みの1つである「カフェ五福の家」が4月19日にオープンし、地域住民の皆さんの拠点として大きな期待が寄せられています。

一人ひとりの想いがたくさんの人たちへつながるあたたかく楽しい居場所となることを願っています。

お近くにお越しの際は、ぜひカフェ五福の家にお立ち寄りください。



カフェ五福の家

住 所：南区若久4-2-3

開 店 日：毎週火・木・土

営業時間：11:00 ～ 17:30



「カフェ五福の家」の内観



自立援助ホーム「TIEZ（タイズ）」



みんなの畑

社会福祉
法人

福岡市社会福祉協議会

☎751-1121 FAX 751-1509

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39

福岡市民福祉プラザ4階

URL <https://fukuoka-shakyo.or.jp>

Eメール sohmu@fukuoka-shakyo.or.jp





おいしいごはんでつながりづくり ～食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業事例集～

少子高齢化の進行や地域でのつながりの希薄化を背景とした社会的孤立の課題を解消するため、食を通じた多世代交流の居場所を紹介する事例集を作成しました。

社会福祉施設の取組みの他、地域の子どもや高齢者等誰もが参加できる居場所の取組み、多様な主体との連携や協働事例、活動の工夫点等についても紹介しています。

新たに居場所を立ち上げる際にも参考となる内容となっています。



▲ダウンロードはこちら！



▲ダウンロードはこちら！

買い物支援ガイドブック(更新版)

食料品や日用品等の宅配や、移動販売の情報をまとめた「買い物支援ガイドブック」を区ごとに作成し、高齢や障がい、子育て世帯等さまざまな理由で買い物にお困りの方に活用していただいています。

この度、店舗情報の更新と合わせて、新たにネット注文の方法を掲載しています。

福岡市社協・各区社協窓口で配布している他、ホームページからダウンロードできます。ぜひご活用ください！

【お問合せ】地域福祉課 ☎791-6339

『災害時に備え、平常時から取り組む連携体制づくり』

令和7年は、福岡県西方沖地震から20年という節目の年です。災害は、どこでも起こりうる可能性があります。

福岡市社協は、福岡市で大規模災害が発生した際には、福岡市との協定により、災害ボランティアセンター(以下「災害VC」という)の運営を担うこととなります。

災害時に備え、平常時から連携強化を図る取組みとして、災害VC運営支援の連携協定を締結している2団体(一般社団法人福岡青年会議所とライオンズクラブ国際協会337-A地区)と「災害VC連絡会議」を令和6年度に初めて開催し、意見交換を行ないました。

また、福岡市と福岡市社協の共催で、災害ボランティア団体や大学、企業等とのネットワーク構築を目的とした「災害ボランティア交流会」を開催しました。参加者からは「他団体の取組みを知ることができたため、今後の連携につなげられる」との声が聞かれました。

さらに、被災者へのボランティア支援を行なう拠点として、市内4箇所目となる「福岡市災害VC設置に関する協定」を、3月26日に福岡大学・福岡市・福岡市社協の3者で締結しました。

今後も、福岡市社協では災害時に備え、地域、企業、大学、NPO、ボランティア団体等関係団体との連携体制づくりを進めていきます。



災害ボランティア交流会の様子

令和6年度 事業報告及び決算

少子高齢化や世帯人員の減少、未婚化や価値観の多様化等を背景として、高齢者に限らず単身世帯が増加し、人と人とのつながりが希薄化しており、地域における福祉課題はますます複雑・多様化しています。複合的な課題を抱えながらも、制度の狭間で支援を必要としている人たちを支える包括的・総合的な支援策の展開がより一層求められています。

福岡市社協では、第6期地域福祉活動計画(令和3年度～令和8年度)において「つながりで“元気”“安心”なまちの実現」を目標に掲げ、弱い立場の人を排除ない地域共生社会の実現を目指して取組みを進めてまいりました。また、令和6年度は、現行の計画の中間年にあたることから中間評価を実施し、計画の進捗状況と計画後期に向けた見直しを行ない、下記の事業を重点的に取り組みました。(重点事業を中心に掲載しています)

1 住民主体の小地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワークによる平常時の見守りと災害時の避難支援との連動の強化

一人暮らしの高齢者等、支援を必要とする人々が地域で孤立せず、安心して暮らすことができるよう、地域住民や関係団体が連携して、日常的な見守り等の支援体制づくりに取り組む「ふれあいネットワーク活動」の拡充に向け、見守りマップの作成支援等を通じ見守り活動を可視化し、災害時の避難誘導等の仕組みとの連動を図る取組みを進めました。

(2) ふれあいサロンをはじめとする居場所づくりの強化

(3) 「校区福祉のまちづくりプラン」策定の推進

(4) 小地域での生活支援ボランティア活動の推進

(5) 多様な主体との連携・協働の推進

2 ボランティアによる社会参加の拡大

(1) ボランティアの参加や裾野の拡充

(2) 分野を超えた様々な人・団体等と協力した活動や連携モデルの開発

(3) 新たな社会課題への対応と課題解決力の向上

(4) 災害時のボランティアや支援活動を円滑に進めるための日頃からの備え

福岡市と協働し、災害支援団体やNPO等との連携体制づくり、災害VC設置候補地の確保や設置・運営訓練、啓発活動やボランティアの養成等に取り組ましました。

3 社会課題解決モデルの開発と拡充

(1) 地域の子どもプロジェクト

(2) 買い物支援

(3) 「終活」支援

(4) 社会福祉法人等とのさらなる連携・協働

(5) 食を通じた居場所づくり・多世代交流モデル事業

(6) 「社会的処方」の手法とあり方に係る研究

(7) 「ファンドレイジング」を組み込んだ社会課題解決の仕組みづくり

4 権利擁護事業の拡充

(1) 本人主体の生活を実現するための日常生活自立支援事業の実施

(2) 成年後見推進センターの機能強化

(3) 市民後見人の養成と活躍支援

(4) 法人後見事業の推進

(5) 親なき後支援事業の推進

5 居住支援の推進と空家・空室の活用

(1) 「住まい・まちづくりセンター」の運営

(2) 「住まいサポートふくおか」による住替え支援の実施

(3) 居住支援法人事業の実施

(4) 制度の狭間を埋める社協ならではの分野横断的な役割の実践

(5) 空家を福祉活用する「社会貢献型空家バンク」

(6) 南区若久の遺贈不動産活用検討

6 地域福祉を推進するための基盤づくり

(1) 個人情報の保護と活用

(2) 福祉教育の推進

7 地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の機能強化

(1) 困難を抱えた人に寄り添いエンパワメントできる専門性を持つCSWの育成

(2) 様々な生きづらさや共通の問題を持つ方々が自主的につながり、相互に援助し合うセルフヘルプ(自助)グループへの支援

(3) 多様な相談機関・専門職等との連携強化

(4) アウトリーチによる相談支援に対応できるCSWの人材配置

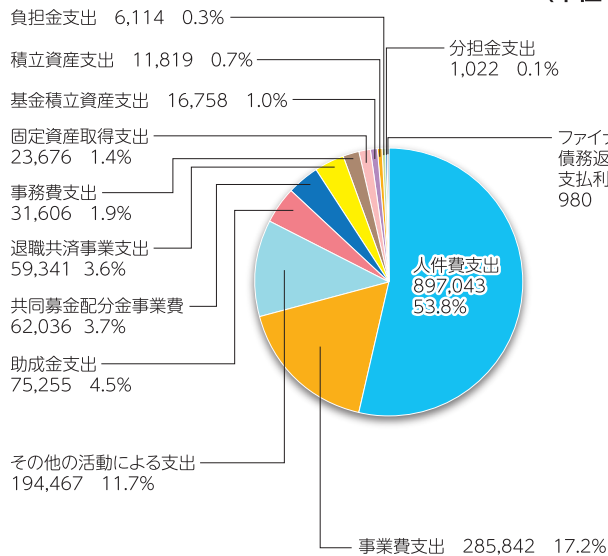
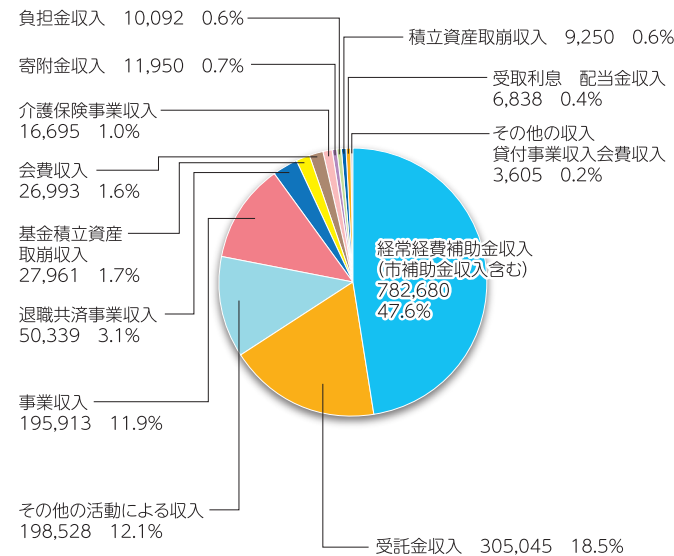
収入の部 1,645,889 千円

決

算

支出の部 1,665,959 千円

(単位：千円)



●令和6年度事業報告書・収支決算書は、福岡市社協ホームページ・総務課窓口で閲覧できます。